

# 縄文

—旧石器時代

—発見80周年—



令和8年(2026)は日本で「旧石器時代」が発見されて80年の節目にあたります。昭和21年(1946)に群馬県桐生市在住の相澤忠洋氏が岩宿(現群馬県みどり市笠懸町阿左美)で石器を発見したことをきっかけに、昭和24年(1949)と昭和25年(1950)、明治大学考古学研究室による発掘調査が行われました。これにより、土器を伴わない縄文時代以前の歴史が日本に存在することが明らかになったのです。

岩宿遺跡の発見は「日本史を書きかえた」とも称されるように、日本における旧石器時代の存在を証明したきわめて重要な考古学の研究成果です。

本企画では相澤氏の採集品や岩宿遺跡の出土品を中心に、日本の旧石器文化を紹介します。あわせて、日本ではじめて「旧石器時代」を発掘した研究者たちが参考にした世界の旧石器時代の資料についても展示いたします。本企画が広く旧石器文化を知ってもらえる機会となれば幸いです。

## Before the Jōmon Era

Commemorating 80 Years  
Since the Discovery of Japan's  
Paleolithic Period

2026 marks 80 years since the discovery of Japan's Paleolithic period. In 1946, Aizawa Tadahiro from Kiryū, Gunma Prefecture, discovered some stone tools at Iwajuku (modern-day Azami, Kasakakemachi, Midori, Gunma). This led to a full-scale survey by a team of archaeologists from Meiji University over 1949–50. The results revealed how Japan's prehistory actually stretched back beyond the Jōmon period to a time before people used pottery.

By proving the existence of a Paleolithic period in Japan, the Iwajuku findings marked a major breakthrough in the field of archaeological research.

This exhibition explores Japan's Paleolithic culture through items collected by Aizawa Tadahiro and objects found at the Iwajuku site. It also displays Paleolithic materials from the rest of the world that were referenced by researchers who took part in Japan's first Paleolithic excavation. We hope the exhibition provides a valuable opportunity to learn more about the Paleolithic period.

1-1

# 1章 岩宿遺跡の発見前夜

「火山灰（赤土）が降り積もるような時代に人間が生活できるはずがない」。岩宿遺跡が発見される以前の、日本の考古学の常識でした。そのようななか、群馬県桐生市で行商を営み、考古学に強い関心を持っていた相澤忠洋（1926～89）は、岩宿の崖から数点の黒曜石の欠片を採集しました。昭和21年（1946）秋のことです。これをきっかけに相澤はたびたび岩宿を訪れ、昭和24年（1949）7月、ついに赤土の中から黒曜石製の槍先形尖頭器（No.1-1）を発見。縄文時代以前に「人間が生活していた」ということを確信しました。

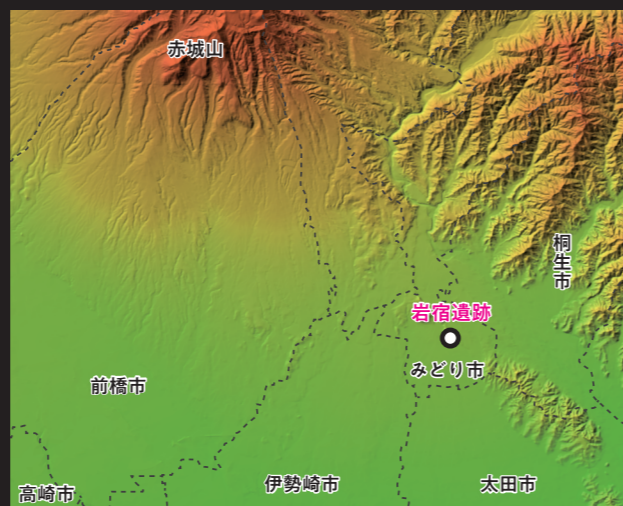


図1 岩宿遺跡の位置



1 ◇岩宿遺跡採集石器 Stone Tools Collected at the Iwajuku Site  
群馬県みどり市 岩宿遺跡採集 後期旧石器時代・前3万5,000年～前1万6,000年 群馬・岩宿博物館（相澤忠洋資料）

## Column 1

### 蒔田鎗次郎が発見した「旧石器」

No.2は明治31年（1898）に蒔田鎗次郎によって東京都北区田端西台通遺跡から発見された石器です。住居跡から弥生時代後期の土器とともに発掘されたことを根拠に、蒔田は弥生時代が石器と金属器を併用する金石併用時代であると考えました。しかし、蒔田が考えたような弥生時代の石槍ではなく、旧石器時代のナイフ形石器であることが後に指摘されました。現在では、日本における最初期の旧石器の発見と学会への報告例として評価されています。



2 ナイフ形石器 Backed Blade  
東京都北区 田端西台通遺跡出土  
後期旧石器時代・前2万3,000年  
徳川頼貞寄贈（蒔田鎗次郎旧蔵）  
J-39591

# 2章 岩宿遺跡の発掘と「旧石器時代」の発見



3-1  
◎石斧 Axe

岩宿遺跡発掘のようす  
昭和24年9月11日撮影  
東京・明治大学博物館提供



3 ◎岩宿遺跡出土石器（岩宿Ⅰ石器文化）  
Stone Tools Excavated from the Iwajuku Site (Iwajuku I Culture)  
群馬県みどり市 岩宿遺跡出土  
後期旧石器時代・前3万5,000年 東京・明治大学博物館



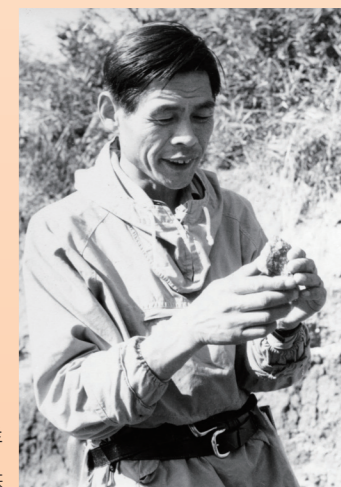
4 ◎岩宿遺跡出土石器（岩宿Ⅱ石器文化）  
Stone Tools Excavated from the Iwajuku Site (Iwajuku II Culture)  
群馬県みどり市 岩宿遺跡出土  
後期旧石器時代・前2万5,000年 東京・明治大学博物館

「赤土の中から石器が出土する」。相澤が採集した石器を目にした明治大学の芹沢長介（1919～2006）と杉原荘介（1913～83）は旧石器時代の存在を直観しました。すぐさま岩宿遺跡の発掘調査が計画・実施され、昭和24年9月、石斧（No.3-1）を含む数十点の石器が赤土（関東ローム層）から発掘されました。ここに、日本列島に旧石器時代が存在することが証明されたのです。岩宿遺跡はその後も調査が続けられ、現在ではその周囲に十数か所の遺跡が残されていることがわかっています。

## Column 2

### 岩宿遺跡を発見した相澤忠洋

相澤忠洋は、幼い頃から考古学に興味を持ち、東京帝室博物館（現東京国立博物館）にも足繁く通ったといいます。終戦後、復員して桐生市に移り住んだ相澤は行商を営むかわら、かねてから関心のあった考古学に没頭し、石器や土器を拾い集める日々を過ごしました。岩宿遺跡発見後は東毛考古学研究所を主宰し、多くの遺跡を発見。相澤が蒐集したコレクションは令和4年（2022）に群馬県みどり市に寄贈され、令和6年（2024）に国の登録有形文化財に指定されました。



相澤忠洋  
群馬・岩宿博物館提供



6 ▲岩宿遺跡駐車場地点出土石器（岩宿 I 石器文化）  
Stone Tools Excavated from the Iwajuku Site Parking Lot Area (Iwajuku I Culture)

群馬県みどり市 岩宿遺跡出土  
後期旧石器時代・前3万5,000年 群馬・岩宿博物館



8 岩宿 II 遺跡出土石器（岩宿 II 石器文化）  
Stone Tools Excavated from the Iwajuku II Site (Iwajuku II Culture)

群馬県みどり市 岩宿 II 遺跡出土  
後期旧石器時代・前2万3,000年 群馬・岩宿博物館



図2 岩宿遺跡の構成（浅い谷の周囲に遺跡が分布）

岩宿遺跡から出土した石器は昭和50年（1975）に重要文化財に一括指定され、遺跡も昭和54年（1979）に国指定史跡に登録されました。平成2年（1990）に岩宿遺跡の地層が観察できる「岩宿ドーム」が、平成4年（1992）には日本では初めての旧石器時代専門の博物館「岩宿文化資料館（現岩宿博物館）」が開館します。その後も史跡整備に伴う発掘調査などが行われ、岩宿遺跡の全体像が明らかにされつつあります。

## 岩宿遺跡のその後

## 3章 日本の旧石器文化

約4万年前に始まる日本の旧石器時代は、世界的にみれば後期旧石器時代に相当します。「氷河時代」ともよばれるこの時代は大変寒冷な気候で、ナウマンゾウなどの大型絶滅獣やノウサギのような小動物といったさまざまな動物を狩猟していました。動物たちは食べるものを求めて移動するため、当時の人々も動物たちを追いかけ、絶えず移動しながら生活を営んでいました。狩猟の成否が生死を分けるため、旧石器時代を通して狩猟具となる石器作りの技術が大きく発達しました。



9 ◇三ツ屋遺跡出土石器  
Stone Tools Excavated from the Mitsuya Site

群馬県桐生市 三ツ屋遺跡出土  
後期旧石器時代・前2万年  
群馬・岩宿博物館（相澤忠洋資料）



11 ◇枅形遺跡出土石器

Stone Tools Excavated from the Masugata Site  
群馬県前橋市 枅形遺跡出土  
後期旧石器時代・前1万6,000年  
群馬・岩宿博物館（相澤忠洋資料）



10 ◇元宿遺跡出土石器

Stone Tools Excavated from the Motojuku Site  
群馬県桐生市 元宿遺跡出土  
後期旧石器時代・前1万8,000年  
群馬・岩宿博物館（相澤忠洋資料）

### 旧石器時代の道具

旧石器時代は目的や使い方に応じてさまざまな石の道具が作られました。動物を狩るための狩猟具（ナイフ形石器や槍先形尖頭器、細石刃）、木材の伐採や動物の解体や加工などに用いた加工具（石斧、削器、搔器など）、石器を作るための道具（敲石など）があります。狩猟具や加工具は本来、木や動物の骨や角で作られた柄に装着されていたと考えられますが、日本の酸性土壌によって分解されてしまい、現在まで残っているものはありません。



### 石器の材料

石器の材料となる石は、道具の種類に応じて使い分けられました。たとえば、狩猟具は鋭い刃先が必要になるため黒曜石が、石斧は木材の伐採に耐えられるように硬く割れにくい石などが選ばれました。これらの石材は身近な河川で採取できるものもあれば、黒曜石のように特定の場所でしか採取できないものもあります。そのため、遺跡から出土する石の種類や産地を調べることで、当時の人々の移動の範囲やルートを推定する手がかりになります。

## 4章 世界の旧石器文化

東京国立博物館には世界各地の石器が収蔵されています。多くは明治から昭和初期に外交官や軍人などによって蒐集され、博物館に寄贈されたものです。当時は標本を作成することが博物館の重要な役割でもあったため、寄贈の受け入れのほか、博物館同士で積極的にコレクションを交換していました。ここでは岩宿遺跡発見に関わった研究者たちが書物で学んだ、世界各地の旧石器時代・新石器時代の代表的な石器を紹介します。



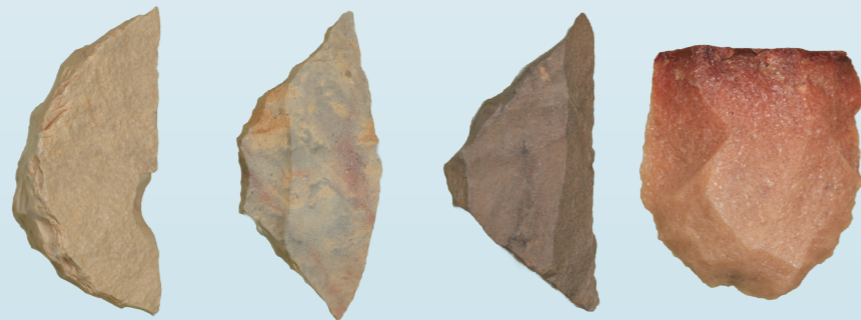
13  
ハンドアックス、クリーヴァー  
Handaxe, Cleaver  
インド採集  
前期旧石器時代・前150万年～前20万年  
H・W・シートン＝カー寄贈  
TJ-223・TJ-226



14 ハンドアックス Handaxe  
フランス、ソナム県 サン・タシュール遺跡採集  
前期旧石器時代・前45万年～前35万年  
H・W・シートン＝カー寄贈 TJ-245



18  
ルヴァロア石核  
Levallois Core  
ソマリア採集  
中期旧石器時代・前20万年前～前5万年  
H・W・シートン＝カー寄贈 TJ-2917



22 幾何学形細石器、搔器  
Geometric Microlith, End Scraper  
新石器時代・前6,000年～後500年 オーストラリア、ビクトリア州アナキー採集  
ドナルド・アール・カリ寄贈 TJ-4718



19 石核、石刃  
Core, Blade  
フランス、ソナム県 ベロイ・シュル・ソナム遺跡採集  
後期旧石器時代・前1万1,000～前1万年  
H・W・シートン＝カー寄贈 TJ-244・TJ-247

### Column 3

#### 石器を蒐集したH・W・シートン＝カー

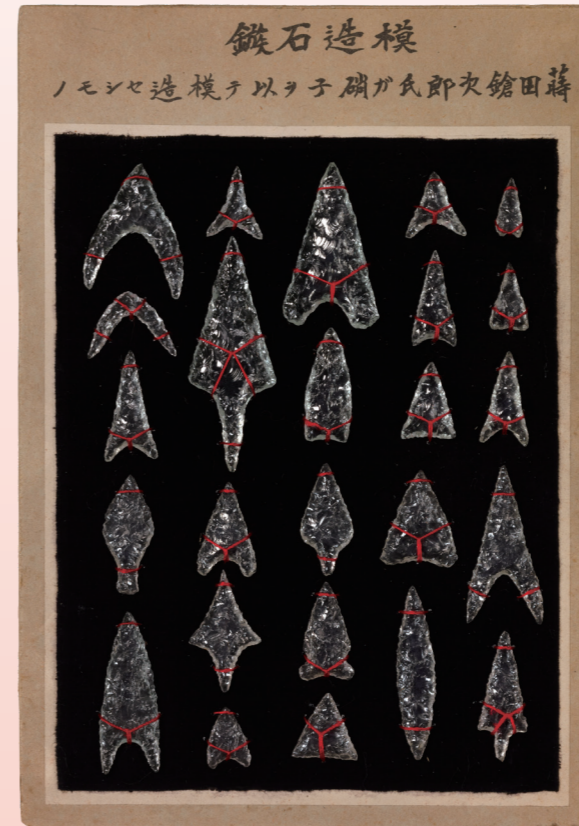
イギリス陸軍に所属し、退役後に探検家・冒険家として世界各地の旅行記を著したH・W・シートン＝カー（Heywood Walter Seton-Karr, 1859-1938）は、先史時代の石器蒐集に情熱を注いだ好古家としても知られています。彼は主にエジプトやインドで採集した石器を、イギリスの著名な考古学者ジョン・エヴァンスらに紹介しました。その中には東アフリカのソマリアで発見したハンドアックスも含まれており、このことがアフリカ大陸に「旧石器時代」が存在したことの証明につながりました。

## 5章 「旧石器時代」を復元する

石器研究のひとつに石器の復元製作があります。実際に石を打ち割って石器を作ることで、ハンマーの種類（石や木、骨や角など）、加工の方法（直接・間接打撃、押圧剥離）など、石器作りの技術を復元することが目的です。それに加えて、近年では石器作りに伴う身体の動かし方など、従来にはない視点でも研究が進められています。日本では早くも明治期に、石鏃の模造（レプリカ）製作を通して石器の製作手順を解明する研究が行われていました。



24  
狩猟具レプリカ Replicas of Hunting Tools  
現代 群馬・岩宿博物館



26 模造石鏃 Replicas of Stone Arrowhead  
蒔田鎗次郎製作 明治時代・19～20世紀 徳川頼貞寄贈  
J-10920



23  
石器作りの道具 Implements for making Stone Tools  
現代 群馬・岩宿博物館

### Column 4

#### 「旧石器時代」の景観を復元する

岩宿博物館には石器以外にも、当時の生活が再現されているイラストやジオラマが展示されています。なかでもジオラマは、現在とはまったく異なる環境の旧石器時代の暮らしを、視覚的に理解してもらうための効果的な展示手法のひとつです。岩宿遺跡のこれまでの研究で、琴平山と稲荷山の東側には浅い谷が入っていたことがわかっています（2章の図2参照）。遺跡はその谷の周囲に分布していることから、現代の私たちと同様に旧石器時代の人々も、日当たりの良い水場のある場所を選んで暮らしていたと考えられます。



27 岩宿遺跡ジオラマ 現代 群馬・岩宿博物館



- Ⓐ 日本
- Ⓑ インド
- Ⓒ フランス、サン・タシュール遺跡
- Ⓓ イギリス、ウォーレンヒル
- Ⓔ イギリス、ノースフリート
- Ⓕ イギリス
- Ⓖ ソマリア
- Ⓗ フランス、ベロイ・シュル・ソム遺跡
- Ⓘ 中国、内蒙古自治区ホロンバイル地方
- Ⓙ オーストラリア、ノースクロヌラ
- Ⓚ オーストラリア、アナキー

図3 本展で出品している遺跡の位置

展示リスト 〇重要文化財 ◇登録有形文化財 ▲みどり市指定重要文化財

章	番号	指定	名称	採集地・出土地・製作	時代・世紀	所蔵(当館所蔵は所蔵番号)・寄贈者	
1章	1	◇	岩宿遺跡採集石器	群馬県みどり市岩宿遺跡採集	後期旧石器時代・前3万5,000年～前1万6,000年	群馬・岩宿博物館(相澤忠洋資料)	
	2		ナイフ形石器	東京都北区田端西台通遺跡出土	後期旧石器時代・前2万3,000年	J-39591(徳川頼貞寄贈)	
2章	3	〇	岩宿遺跡出土石器(岩宿Ⅰ石器文化)	石斧、ナイフ形石器、削器、楔形石器、石刃、剥片、石核	群馬県みどり市岩宿遺跡出土	後期旧石器時代・前3万5,000年	東京・明治大学博物館
	4	〇	岩宿遺跡出土石器(岩宿Ⅱ石器文化)	ナイフ形石器、角錐状石器、石刃、剥片、石核	群馬県みどり市岩宿遺跡出土	後期旧石器時代・前2万5,000年	東京・明治大学博物館
	5	〇	岩宿遺跡出土石器(岩宿Ⅲ石器文化)	搔器	群馬県みどり市岩宿遺跡出土	後期旧石器時代・前2万年	東京・明治大学博物館
	6	▲	岩宿遺跡駐車場地点出土石器(岩宿Ⅰ石器文化)	ナイフ形石器、石刃、剥片	群馬県みどり市岩宿遺跡出土	後期旧石器時代・前3万5,000年	群馬・岩宿博物館
	7	▲	岩宿遺跡駐車場地点出土石器(岩宿Ⅱ石器文化)	ナイフ形石器、削器、搔器、楔形石器、石刃、剥片、石核	群馬県みどり市岩宿遺跡出土	後期旧石器時代・前2万3,000年	群馬・岩宿博物館
	8		岩宿Ⅱ遺跡出土石器(岩宿Ⅱ石器文化)	槍先形尖頭器、ナイフ形石器、搔器、石刃	群馬県みどり市岩宿Ⅱ遺跡出土	後期旧石器時代・前2万3,000年	群馬・岩宿博物館
3章	9	◇	三ツ屋遺跡出土石器	槍先形尖頭器、ナイフ形石器、搔器、削器、剥片	群馬県桐生市三ツ屋遺跡出土	後期旧石器時代・前2万年	群馬・岩宿博物館(相澤忠洋資料)
	10	◇	元宿遺跡出土石器	槍先形尖頭器、削器、石刃、敲石	群馬県桐生市元宿遺跡出土	後期旧石器時代・前1万8,000年	群馬・岩宿博物館(相澤忠洋資料)
	11	◇	榊形遺跡出土石器	細石刃、細石刃核、搔器、削器、彫器、石刃	群馬県前橋市榊形遺跡出土	後期旧石器時代・前1万6,000年	群馬・岩宿博物館(相澤忠洋資料)
	12	◇	石山遺跡出土石器	槍先形尖頭器、搔器	群馬県伊勢崎市石山遺跡出土	縄文時代草創期・前1万1,000年	群馬・岩宿博物館(相澤忠洋資料)
4章	13		ハンドアックス、クリーヴァー	インド採集	前期旧石器時代・前150万年～前20万年	TJ-223, TJ-225-227 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	14		ハンドアックス	フランス、ソム県サン・タシュール遺跡採集	前期旧石器時代・前45万年～前35万年	TJ-243, TJ-245 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	15		ハンドアックス	イギリス、サフォーク州ウォーレンヒル採集	前期旧石器時代・前55万年～前35万年	TJ-237 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	16		ハンドアックス	イギリス、ケント州ノースフリート採集	前期旧石器時代・前55万年～前35万年	TJ-238, TJ-240 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	17		ハンドアックス	イギリス採集	前期旧石器時代・前55万年～前35万年	TJ-239 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	18		ハンドアックス、ルヴァロア石核、剥片	ソマリア採集	中期旧石器時代・前20万年～前5万年	TJ-2917 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	19		石核、石刃	フランス、ソム県ベロイ・シュル・ソム遺跡採集	後期旧石器時代・前1万1,000年～前1万年	TJ-244, TJ-246-251 (H・W・シートン=カー寄贈)	
	20		細石刃、細石刃核、スクレイパー、両面加工石器	中国、内蒙古自治区ホロンバイル地方採集	新石器時代・前7,000年～前3,000年	TJ-4692, TJ-4695, TJ-4696 (守田俊郎寄贈)	
	21		幾何学形細石器、搔器、石核	オーストラリア、ニューサウスウェールズ州ノースクロヌラ採集	新石器時代・前6,000年～後500年	TJ-4718 (ドナルド・アール・カリ寄贈)	
	22		幾何学形細石器、搔器	オーストラリア、ビクトリア州アナキー採集	新石器時代・前6,000年～後500年	TJ-4718 (ドナルド・アール・カリ寄贈)	
5章	23		石器作りの道具	石・木のハンマー、鹿角のパンチ、細石刃核の固定具、革の保護具	現代	群馬・岩宿博物館	
	24		狩猟具レプリカ	ナイフ形石器、槍先形尖頭器、細石刃	現代	群馬・岩宿博物館	
	25		石器レプリカ	ナイフ形石器、槍先形尖頭器、細石刃	現代	群馬・岩宿博物館	
	26		模造石鏃	蒔田鎗次郎製作	明治時代・19～20世紀	J-39594, J-10920(徳川頼貞寄贈)	
	27		岩宿遺跡ジオラマ		現代	群馬・岩宿博物館	

※番号はリーフレット上の番号です。図版の大きさは原寸より大きいものもあります。

※国土地理院地図(電子国土WEB)色別標高図・標準地図を加工して作成。



## 特別企画「ビフォー縄文 旧石器時代発見 80 周年」リーフレット

### 正誤表

リーフレット内に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

#### ■2ページ

##### No.2の年代表記

誤) 後期旧石器時代・前2万3,000年

正) 後期旧石器時代・前3万3,000年

#### ■5ページ

##### No.9の出土地

誤) 群馬県桐生市 三ツ屋遺跡出土

正) 群馬県前橋市 三ツ屋遺跡出土

##### No.11の遺跡名

誤) 群馬県前橋市 柎形遺跡出土

正) 群馬県前橋市 榎形遺跡出土

#### ■8ページ 巻末リスト

##### No.2の年代表記

誤) 後期旧石器時代・前2万3,000年

正) 後期旧石器時代・前3万3,000年

##### No.9の出土地

誤) 群馬県桐生市 三ツ屋遺跡出土

正) 群馬県前橋市 三ツ屋遺跡出土